

佐久市佐久つと支援金事業 自己評価報告書

		評 価 日	平成31年 3月31日
団 体 名	ザ・フレンズ		
事 業 名	朗読・音読・音訳の提供と学習		
対象経費	59,866 円	支援金交付 対 象 経 費	59,866 円
支援金額	29,000 円		

事業の目的・内容	<p>目的</p> <p>1、朗読を学びながら、対面での朗読等の提供活動を行う。</p> <p>2、発表会などの機会にはより多くの人に朗読を通し様々な作品を紹介し、作品の内容・楽しさを伝えていく。</p> <p>3、作品や朗読について互いに語り合いながら仲間の輪を広げる。</p> <p>4、朗読等の提供を通じて知り合えた人達と共に社会参加をし、地域のつながりの一端を担う。</p>
	<p>内容</p> <p>1、定例会は、毎月1回実施（第1水曜日・原則）朗読の学習、情報交換、ボランティア打ち合わせ及び練習。</p> <p>2、専門講師によるワークショップ(講座)の実施。</p> <p>3、朗読発表会の実施。</p> <p>4、高齢者福祉施設への慰問、学校・児童館での読み聞かせ等ボランティア活動の実施。</p> <p>5、その他、地域住民の要請に応じ対面での朗読等の提供。</p>

事業の活動実績	<p>1、定例会の実施（4/4・5/2・6/6・7/4・8/1・9/5・10/3・11/7・12/5・1/8・2/6・3/6）</p> <p>2、小山菜穂子先生による講座の実施。2回（7/11・2/20）</p> <p>3、ボランティア活動 高齢者福祉施設慰問（4月～3月）月1回2施設実施、3人体制で対応。 学校・児童館での読み聞かせ実施。 小学校・延べ 回実施 児童館毎月1回1児童館3人 「第13回佐久ふれあい広場」への参加</p> <p>4、朗読発表会 グループ内発表会 2回 9月・12月実施。 単独での朗読発表会 3月6日午後1時から午後4時中央図書館視聴覚室にて実施。 （発表会に向けての活動日1/16・1/30・2/6・2/13・2/20・2/27・3/5） 中央図書館AVコーナーでの「今月の朗読会」 7月より第4水曜日午前11時より実施。</p> <p style="text-align: center;">（別紙参照）</p>
---------	---



別記様式第5号 (6の2関係) [2枚目]

事業の成果・効果	<p>専門講師による講座では、作品を朗読するためにその作品の捉え方・表現の仕方等掘り下げて分かりやすく指導していただいたこと、また、会員一人一人の問題点等についても個々に指導を受けることにより、それぞれの自主学習に生かすことが出来た。</p> <p>また、定例会においての学習会では、テキストに沿って学習する中でも、講師の指導内容と合わせて、より納得できた学習ができた。</p> <p>老人施設をはじめとしたボランティア活動では、新しい作品の練習・準備に、忙しさも感じたが、熱心に聞いて下さる姿に、次はどんな作品を聴いてもらおうか、もっとしっかり練習しなければと、朗読の技術を磨くことを改めて感じ、それぞれが頑張ったと思う。</p> <p>定例会に、ボランティア活動にと忙しく活動している中で、グループ内の朗読発表会や公開朗読発表会、今年度7月からの図書館での「今月の朗読会」の実施では、人前で発表することにより確実に一人一人が力をつけてきたと思います。</p> <p>朗読が好きで、朗読に興味があり、専門講師による講座をはじめ朗読を学習する機会が持てたことにより、より多くの人に、多くの作品の、その一つ一つの作品の世界をしっかりと届けたいという思い・意欲が、その朗読の世界の深さ・難しさをしっかりと感じながらも、少しずつの実力と共に会員の中にしっかりと根付いてきたように感じます。</p>
----------	---

自己評価	事業は申請どおり実施できた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 計画に基づき会員の協力により実施できた。
	事業の実施によって、期待した効果をあげることができた	① できた 2 概ねできた 3 あまりできなかった 4 ほとんどできなかった 自己評価を記入 忙しくも活動を続けている中で、会員も少しずつ増え、また、朗読に対する自信も少しずつつき、会員一人一人意欲的に動けるようになった。
	実施計画書と実績報告書の活動費の内訳について	① ほとんど同じ 2 多少の変更があった 3 大幅に変更している 主な理由 (2、3と答えた場合のみ)
	その他、評価すべき点等	講座や発表会・ボランティア活動と忙しい活動の中でも、皆いろいろな作品を多くの人たちに届けたいという意欲を持つようになった。また、中央図書館での「今月の発表会」では、毎月1回できるだけ一人での発表という目標に、良い機会ととらえ長編にも挑戦するようになった。

※ 自己評価の欄は、番号に○を付けてください。評価は、客観的自已診断です。

今後の事業展開	<p>より一層朗読の学習を重ね、一人一人の技術を磨き、多くの人に満足してもらえるような朗読を提供できるようにしていきたい。</p> <p>また、朗読で、いろいろな作品の世界を楽しさを伝えていきたい。</p> <p>訪問を楽しみに待っていてくれる人たちがいる幸せを感じ、より良い朗読を提供していく事に努め、交流を広げていきたい。</p>
---------	---